

どうなる どうする
日本の食シンポジウム in 東京

「弁当の日」

ひろがれ

子供が作る「弁当の日」。自分で作る「弁当の日」。一品持ちより「弁当の日」そんな取り組みが広がっています。自分で作ることで、食材を作ってくれる農家、いつも料理を作ってくれる人に感謝できるようになります。誰かのために作れば、できるだけ安全な食材を選びたいくなります。国産の、できれば地元の食材を選びたいくなります。「食の安全・安心」「食料自給率」の問題も弁当の日が超えていくかもしれません。日本の食と農をかえていくかもしれません。みんな考えてみませんか？

13:00~13:30

「いまどきの大学生の食卓」
佐藤弘(西日本新聞社編集委員)

13:30~14:20

「食卓から始まる生教育」
内田美智子(助産師)

14:20~14:45

「これが元祖、弁当の日」
佐藤剛史(九州大学農学部助教)

14:45~15:00 休憩

15:00~15:20

「大学生の弁当の日」
佐藤剛史(九州大学農学部助教)

15:20~15:40

「私たちは弁当の日を応援します!」
魚戸おさむ(漫画家)
タカコナカムラ(ホールフード協会)など

15:40~16:30

クロストーク「ひろがれ弁当の日」
コーディネーター: 佐藤弘・剛史



2009 会期・会場
1/10(土)

13:00~16:30

開場12:30~
東京大学弥生講堂
一条ホール

東京都文京区弥生1-1-1
<http://www.a.u-tokyo.ac.jp/yayoi/>

「東京大学弥生講堂・一条ホールまでの案内図」



参加費 1,000円
(高校生以下は無料)

主催:九州弁当の日軍団

共催:全国大学生生活協同組合連合会

協力:Whole Food協会、恵泉女学園大学、エコテスト株式会社、コモンズ、株式会社がいあプロジェクト、セーフティショップまなべ、空豆食堂、自然村(有)

後援:西日本新聞、食と農の研究ネット、日本農業新聞、農山漁村文化協会、東京財団、アジア農民交流センター

結城登美雄(民俗研究家)、魚戸おさむ(漫画家)、藤井まり(精進料理塾「不識庵」)、渡邊美穂(フリーライター)、団長(ロックバンド「一里塚華劇団」)は「弁当の日」を応援します!

講師紹介

九州弁当の日軍団



佐藤剛史(さとうごうし)

九州大学大学院農学研究院助教、農学博士。専門は環境経済学。1973年、大分県生まれ。学生時代にNPO法人環境創造舎を立ち上げ、代表理事に就任、里山再生活動、市民参加型のまちづくり、食育などの事業・活動を展開。年間の講演、ワークショップの回数は100回を超える。著書に『ここ一食卓から始まる生教育-』(西日本新聞社)、『弁当の日一食べ盛りの君たちへ』(西日本新聞社)など。



内田美智子(うちだみちこ)

助産師。1957年、大分県竹田市生まれ。1988年から内田産婦人科医院に勤務。夫は同医院院長。同院内で子育て支援の幼児クラブ「U遊キッズ」を主催。思春期保健相談士として思春期の子どもの悩みの悩みなどを聞く。九州思春期研究会事務局長、福岡県子育てアドバイザー、福岡県社会教育委員。著書に『ここ一食卓から始まる生教育-』(西日本新聞社)。「生」「性」「いのち」「食」をテーマに全国で講演活動を展開。



佐藤弘(さとうひろし)

西日本新聞社編集委員。1961年、福岡県生まれ。中学時代、有吉佐和子の「複合汚染」を読み、ふるさとの野山がおかされていくわけを知る。百姓を志し、東京農大農業拓殖学科に進学するも、深遠なる「農」の世界に触れ、実践者となることを断念。側面から支援する側に回ろうと西日本新聞社に入社。システム開発部、日田支局、筑豊総局、経済部などを経て、現在、編集企画委員会で長期企画「食卓の向こう側」の企画、執筆にあたる。

「弁当の日」の予習をするには?



シリーズ・子どもの時間 3
『“弁当の日”がやってきた』
竹下和男・綾川町立滝宮小学校
自然食通信社
定価:1,680円



『ここ一食卓から始まる生教育-』
内田美智子・佐藤剛史
西日本新聞社
定価:1,500円



『食卓の向こう側8-食育その力-』
西日本新聞社「食くらし」取材班
西日本新聞社
定価:500円



シリーズ・子どもの時間4
『台所に立つ子どもたち』
竹下和男・高松市立国分寺中学校
自然食通信社
定価:1,680円



『弁当の日一食べ盛りの君たちへ』
佐藤剛史編
西日本新聞社
定価:800円



増刊現代農業 08年2月号
『食の自治から暮らしの自治へ-他人ごとから自分事へ-』
農文協
定価:900円

参加希望の方は、代表者の方の①住所、②氏名、③所属、④連絡先(電話・メール)を記入のうえ、メール、FAX、はがきにてお申し込み下さい。

定員は300名(申し込み先着順)。子どもの同伴も可能ですが託児施設はありません。

受付後、メール、FAX、はがきのいずれかで受付完了のお知らせをいたします。参加費は当日、受付にてお支払い下さい。

メール: info@agr-eco.jp

FAX: 092-642-2961

ハガキ: 〒812-8581 福岡市東区箱崎6-10-1

九州大学農学部 佐藤剛史 「弁当の日シンポ」係

申し込み締切 2008年12月25日(木)必着